

香港株式市場フラッシュ

香港市場の鼎を成すハンセンテック指数が始動

リサーチ部 李一承

Tel: 03-3666-0707

E-mail: icheng.lee@phillip.co.jp



2020年8月31日号(2020年8月28日作成)

”香港市場の鼎(かなえ)を成すハンセンテック指数が始動へ“

ハンセン指数を始め、香港株式市場の各種株価指数を算出するハンセン指数公司(HSI)が7月27日、「香港版ナスダック」と称されるハンセンテック指数を新たに公表・算出を開始した。インターネット、Eコマース、クラウド、フィンテック、デジタル分野を主要業種とするハンセンテック指数は、ハイテク株を中心に金融、一般消費財、資本財、医療保険関連株などから時価総額上位の30銘柄で構成されている。同指数上位6銘柄が1銘柄当たりの指数構成比上限とされる8%で占められおり、6銘柄でハンセンテック指数の約半分を占める。6銘柄のうち上位5銘柄がハンセン指数の構成指数になっているため、ハンセンテック指数は、ハンセン指数やハンセン中国企業指数(H株指数)と共に鼎を成し、香港株式市場の主要な指数の1つとして認知されたと考えよう。

ハンセンテック指数は四半期ごとに見直しが行われ、IPO銘柄が適宜に同指数に組み込まれることが特色だ。IPO銘柄の上場初日の時価総額が同指数の上位10番目を上回る場合、当該IPO銘柄は取引日10日目の大引け後に同指数に組み込まれる。HSIによると、同指数を過去に遡って算出した場合の19年の騰落率は+36.2%、20年上期は同+35.3%だった。同期間のハンセン指数がそれぞれ+11.6%、▲13.7%だったことから、上場企業全体の時価総額の拡大が続く香港株式市場の実態をハンセンテック指数の方がハンセン指数よりも正確に反映していると言えよう。

ハンセンテック指数の構成銘柄と指数ウェート一覧

コード	会社名	業態	指数に占めるウェート(%)	
			9/7変更前	9/7変更後
3690	美团点评	ロコミサイト	9.11	8.00
2382	サニーオプティカル	光学レンズ製造	8.65	8.00
9988	アリババ集団	ネット通販	8.51	8.00
700	テンセント	ネットサービス	8.33	8.00
1810	小米集団	スマホメーカー	7.71	8.00
981	SMIC	半導体製造	5.40	8.00
241	阿里健康	ヘルスケアITサービス	4.89	7.33
9618	JDドットコム	ネット通販	4.74	4.41
268	金蝶国際ソフト	ソフトウェア	4.89	4.23
2018	瑞声科技	小型音響部品	3.97	4.02
1833	平安健康医療科技	ヘルスケアITサービス	3.93	3.65
992	レノボグループ	PC	3.67	3.41
3888	キングソフト	オフィスソフト	3.25	3.02
9999	ネットイース	ポータルサイト	2.45	2.85
522	ASMパシフィック	半導体関連	2.85	2.65
285	BYDエレクトロニック	スマホ部品	2.42	2.25
772	関文集団	オンライン書籍	2.18	2.03
763	ZTE	通信機器	1.76	1.63
6060	衆安在線財産保険	オンライン保険	1.69	1.57
780	同程芸龍	オンライン旅行	1.62	1.53
2013	微盟集団	B2Bクラウド	1.60	1.49
1347	華虹半導体	半導体関連	1.40	1.30
1797	新东方在線科技	オンライン教育	1.31	1.22
2400	XD	モバイルゲーム	0.64	0.63
6088	FIT HON TENG	電子部品メーカー	0.65	0.60
1896	猫眼映業	ネット映画チケット販売	0.75	0.62
136	恒騰網絡	ネットサービス	0.58	0.54
1478	Qテクノロジー	カメラモジュールメーカー	0.43	0.46
777	ネットドラゴン	ネットゲーム	0.40	0.37
2858	易キン集団	ネット自動車販売	0.26	0.18
	合計		100.00	100.00

出所:ハンセン指数公司のデータをもとにフィリップ証券作成

(注)黄色はテンセント系列、青色はアリババ系列、緑色はJDドットコム系列。9/7基準日で、指数に占めるウェート変更(変動)を実施予定。

”中国ユニコーン企業の上場ラッシュが追い風“

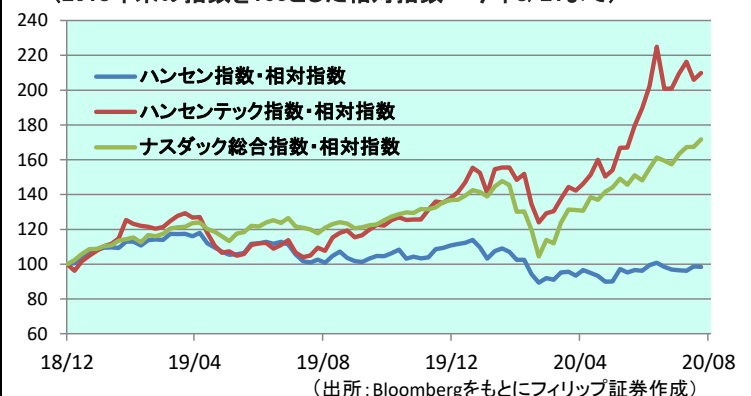
ハンセンテック指数の構成銘柄の多くがテンセント・ファミリー、またはアリババ・ファミリーに属している。アリババ集団の傘下企業であり、中国のユニコーン企業(評価額が10億ドル以上の未上場スタートアップ企業)の代表格だったフィンテック大手のアント・グループも今月25日、香港と上海の両取引所に株式上場を申請。時価総額2,000億USDに上る同社の調達予定額は300億USDに達し、これまで世界最大だったサウジアラムコ(19年12月上場)の調達額(294億USD)を抜くとの見方も浮上している。アント・グループは四半期ごとの指数見直しを待つことなく上場直後にはハンセンテック指数に組み込まれる公算だ。

中国民間調査大手の「胡潤研究院」は8月4日、世界全体のユニコーン企業に係る「グローバル・ユニコーン・ランキング(2020胡潤全球独角兽)」を発表した。評価額トップで輝いたのは前述のアント・グループ(時価総額1兆元)だ。「TikTok」運営のバイトダンス(時価総額5,600億元)、配車ライドシェア大手の滴滴出行(3,700億元)、フィンテック大手の陸金所(2,700億元)などベスト4までは中国企業が続く。トップ10社のうち、中国企業の6社に対し、米国企業は4社だった。

”香港市場で主要指数の主従逆転も“

ハンセンテック指数を過去に遡って算出したと仮定した場合の直近1年間の安値から高値までの上昇率は、ハンセン指数の10倍、ナスダック総合指数の2倍に達している。同指数の高いボラティリティ(変動率)を懸念する向きがあるものの、ボラティリティの高さがより多くの市場参加者を引きつける要因となる面もあろう。足元では、アント・グループに続き、バイトダンス(中国国内事業限定)や滴滴出行が年内にも香港市場や上海市場への上場観測が浮上している。高いポテンシャルを有するハンセンテック指数が将来、香港市場を代表する指数として世界の投資家に認知される可能性もあるのかもしれない。

ハンセン指数、ハンセンテック指数、ナスダックの相対指数推移(2018年末の指数を100とした相対指数・今年8/21まで)



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘
リサーチ部 李 一承

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。